

能動的な学生生活を!

経済学部 内山 哲朗

皆さんは、「大学で何を学ぶか」を考えながら大学の門をくぐったことでしょうか。大学生活では、与えられる知識を受け身のままでただ憶えるのではなく、学びえた知識をいかに能動的に生かしていくかという発想の転換が最も重要です。そのためには、学業を通じて社会・経済をめぐ

自分の「カッコいい」追求

法学部長 白藤 博行

リユクといっぱいの夢と希望をもって、ようこそ専修大学法学部へ! 君たちの中には、ひょっとしたら偏差値50であることにコンプレックスを持っている学生がいるかもしれない。しかし、心理学者のA・アドラー曰く、「普通であることに勇気を持って」。勉強ができる一流もいるが、

志をいどころ

経営学部 馬場 杉夫

入学おめでとう。夢いっぱいあふれていることでしょう。せっかく描いている夢があるのであれば、ぜひ、実現させましょう。夢は、漠然としたままで、かないません。できるだけ具体的に目に見える目標に変えると、現実味をおびてきます。さらに、社会へ貢献する志と

チャレンジの4年間に

商学部長 佐々木 重人

商学部は、「今までも、そしてこれからもチャレンジし続ける商学部」という学部アイデンティティを発信し続けてきました。このメッセージを商学部の学生となった皆さんは、ぜひ心に刻み込んでいただきたいと思います。チャレンジするとは何でしょうか。それは、自

ちがうことをする場所

文学部長 廣瀬 玲子

ご入学おめでとうございます。皆さんは学校についてどのように感じていますか。高校までの学校は好きでしたか。人によって、学校はみんな同じことをさせられる場所でも思っているところもあるかもしれません。でも、今からはちがいます。大学とは、一人一人がちがうことをする場所

楽しく学び合う

ネットワーク情報学部長 江原 淳

入学おめでとうございます。文系でも理系でも芸術系でも不思議な学部だからこそ、情報システムを構築する技術力も、目的を実現できるような情報に形を与えるデザイン力も、それをチームとして実現するコミュニケーション力と企画力もすべて必要です。新しいものを創造する演

「実験」と「実習」を柱に

人間科学部長 山上 精次

ご入学にあたり人間科学部での学びについてお伝えしたいと思います。最近、「能動的な学習」という意味の言葉が力強く使われてきています。人間科学部におけるカリキュラムは初年度から「実験」や「実習」を柱として組み立てられています。つまり誰か他人が集めたデータを



「問い」を発する努力が不可欠です。「問い」を発するところには、必ず「思考」が生まれてくるからです。こうした思考の積み重ねを通じて、「入学時の自分を超える卒業時の自分」に出会えるように、能動的な学生生活をぜひとも送ってほしいと願っています。



部は「ポロロい学部だ。みんな法学部ロマン飛行に飛び立とうではないか。」



ぜひ、あなたの志を成し遂げてくださいます。



これからの4年間が多くのチャレンジで埋め尽くされることを期待します。



皆さんの成長を楽しみにしています。



その主体は皆さん自身です。ネットワーク情報学部長はその舞



に伝達する知識とスキルをしっかりと身につけることができて

学部長・大学院研究科長・法科大学院長からの歓迎メッセージ

冷静な頭脳と温かい心情

経済学研究科長 徳田 賢二

専修大学大学院へようこそ。大学院は皆さんが知力を高め、ステップアップできる絶好の舞台です。現代ほど知的専門性が問われる時代はありません。学位を得るため、十分に研究時間を確保し、研究を通じて論理的思考力を磨き、さらに専門的な発表能力を高めることを心掛けてください。目指すは「冷静な頭脳(Cool Mind)と温かい心情(Warm Heart)」

分かった気になるな

法学研究科長 小川 浩三

修士、博士課程への進学おめでとうございます。これから皆さんは、学びの場から研究の場に踏み入ることになります。研究の場において皆さんに望みたいことは、安易に妥協して「分かった」といわないでほしいということです。法学部の学習は多くは資格試験などと結びついて、教えられたことをそれなりに理解してそれを適当に使えることを目指してあります。しかし、これからは従順に受け入れ

独自のテーマを追究

文学研究科長 広田 康生

大学院での研究は、自らテーマを設定し、自分自身でそのテーマを追究していく毎日です。テーマを追究するうえで迷いや挫折は日常茶飯事です。決して怯えず、柔軟に、先行研究を手掛かりに、自分自身の研究テーマに必要な概念や理論や方法論を学び、自らで論文の構想を考えていかなければなりません。教員はそうした皆さんの研究作業に必要なアドバイスや指導をする存在です。

Why&Love spiritで挑戦!

経営学研究科長 加藤 茂夫

大学院の存在意義は高度な研究と学問を深化させることである。それは人類・社会への貢献のためである。現在求められていることは多様性の尊重と己の謙虚さを再認識することである。相手とのコミュニケーションを通じて相互の存在意義を確認し、尊敬しあうことが学問を深めるためには必要となろう。私は経営学を「実践の学」として捉えている。「実践の学」とは人類の幸せに貢献することであり、つまり人間の学でなければならないと常に考えている。

課題発見・解決能力を修得

商学研究科長 渡辺 達朗

大学院入学おめでとうございます。商学研究科は、ローカルコミュニケーションからグローバルビジネスにまで及ぶ、企業活動や社会的取り組みにかかわる課題発見や問題解決を担う人材の育成を志向する実践的な教育・研究を特徴としています。新入生の皆さんには、日々変化する現実の事象を追いながらも、決してそれに振り回されることなく、基本的な知識や理論を理解法をすべて身につけるとともに、人の痛みがわかる温かい心を持たなければなりません。これらを学ぶためのカリキュラムも人的・物的支援も整っています。入学後も、初心を忘れることなく、将来に向けての意欲を持ち続け、緊張感のある充実した毎日を過ごしてください。

温かい心を持つ法律家に

法科大学院長 佐野 裕志

入学おめでとうございます。スタッフ全員を代表して歓迎のあいさつを申し上げます。法科大学院は修了後の目標が明確に定まっていますので、これからの2年ないし3年間で、将来を見据え勉学にいそしんでください。法律家は、法学についてのプロであることは当然ですが、人の持つ不幸を正面から受け止める職業です。そのためには法学についての総合的な理解や法律家として必要な技法をすべて身につけるとともに、人の痛みがわかる温かい心を持たなければなりません。これらを学ぶためのカリキュラムも人的・物的支援も整っています。入学後も、初心を忘れることなく、将来に向けての意欲を持ち続け、緊張感のある充実した毎日を過ごしてください。



リアの扉を切り開いてください。私たちは全力でアシストすることをお約束します。



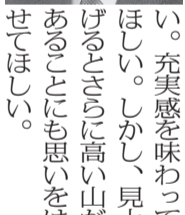
ある、あるいは変な言い方ですが業として許されるただ一度の機会です。研鑽を祈念します。



です。大学院が人生の大切な瞬間の積み重ねでありますようお祈りいたします。



せてほしい。



です。



です。



です。